

吸収合併に関する事前開示書類

(会社法第 794 条第 1 項、会社法施行規則第 191 条に定める書面)

当社は、2024 年 2 月 13 日付で日本ファブワールド株式会社との間で締結した合併契約書に基づき、2024 年 4 月 1 日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、日本ファブワールド株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下、「本吸収合併」といいます）を行うことといたしました。会社法第 794 条第 1 項および会社法施行規則第 191 条に基づき、以下のとおり吸収合併契約の内容その他法務省令で定める事項を記載した書面を備え置きます。

2024 年 2 月 14 日

萩原工業株式会社

目次

1. 吸収合併契約の内容
2. 合併対価の相当性に関する事項
3. 吸収合併消滅会社の新株予約権に関する事項
4. 吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等
5. 吸収合併存続会社の最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象
6. 吸収合併が効力を生ずる日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

1. 吸収合併契約の内容

別紙1のとおり、2024年2月13日付で吸収合併契約を締結いたしました。

2. 合併対価の相当性に関する事項

完全親子会社間の合併につき、合併対価の交付は行いません。

3. 吸収合併消滅会社の新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

4. 吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等

別紙2のとおりです。

5. 吸収合併存続会社の最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象

吸収合併存続会社には、最終事業年度の末日後、重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象は生じていません。

6. 吸収合併が効力を生ずる日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

本吸収合併効力発生日後の吸収合併存続会社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本吸収合併後の吸収合併存続会社の収益状況およびキャッシュ・フローの状況について、吸収合併存続会社の債務の履行に支障を及ぼすような事態は、現在のところ予測されておりません。従い、本吸収合併後におこる吸収合併存続会社の債務について履行の見込があると判断いたします。

以上



合併契約書

萩原工業株式会社（以下「甲」という。）と日本ファブワールド株式会社（以下「乙」という。）は、甲乙間の合併に関し、以下のとおり契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第1条（合併の方法）

- 甲及び乙は、本契約の定めに従い、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」という。）を行う。
- 本合併に係る吸収合併存続会社及び吸収合併消滅会社の商号及び住所は、以下のとおりである。
 - 吸収合併存続会社
商号：萩原工業株式会社
住所：岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
 - 吸収合併消滅会社
商号：日本ファブワールド株式会社
住所：岡山県笠岡市山口1428番地の1

第2条（無対価合併）

甲は、乙の発行済株式のすべてを所有しているため、本合併に際して、乙の株主に対し対価を交付しない。

第3条（効力発生日）

本合併の効力発生日は、2024年4月1日とする。但し、本合併の手続きの進行その他の事由に応じて必要がある場合には、甲乙協議し合意の上、会社法の規定に従い、これを変更することができる。

第4条（甲の資本金及び準備金の額）

本合併に際して、甲の資本金、資本準備金及び利益準備金の額は増加しない。

第5条（甲の簡易合併と乙の略式合併）

- 甲は、会社法第796条第2項の規定に基づき、本契約につき株主総会の承認を得ないで本合併を行う。
- 乙は、会社法第784条第1項の規定に基づき、本契約につき株主総会の承認を得ないで本合併を行う。

第6条（善管注意義務）

甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日までの間、善良な管理者の注意をもって事業を執行し、一切の財産の管理及び運営を行うものとし、本契約に別段の定めがある場合を除き、その財産又は権利義務に重大な影響を及ぼす行為を行う場合は、あらかじめ甲乙協議し合意の上、これを行うものとする。

第7条（会社財産の承継）

甲は、効力発生日において、効力発生日の前日における乙のすべての資産及び負債並びに権利義務の一切を承継する。

第8条（合併条件の変更及び本契約の解除）

甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日の前日までの間に、天災地変その他の事由により、甲又は乙の資産状態、経営状態に重大な変更が生じた場合には、甲乙協議し合意の上、本契約に定める条件を変更し又は本契約を解除することができる。

第9条（協議事項）

本契約に定めのない事項その他本合併に際し必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲乙協議し合意の上、これを決定する。

以上、本契約締結の証として、本書2通を作成し、甲及び乙はそれぞれ記名捺印の上、各1通を保有する。

2024年2月13日

岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地

甲 萩原工業株式会社

代表取締役社長 浅野 和志



岡山県笠岡市山口1428番地の1

乙 日本ファブワールド株式会社

代表取締役社長 藤田 学



第56期

計 算 書 類 等

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

1. 事業報告
2. 貸借対照表
3. 損益計算書
4. 株主資本等変動計算書
5. 個別注記表
6. 監査報告書

日本ファブウエルド株式会社

岡山県笠岡市山口1428番地の1

(添付書類)

事業報告
(2022年 4 月 1 日 から)
(2023年 3 月 3 1 日 まで)

1. 会社の現況

(1) 当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

当期間におけるわが国の経済は、まん延防止等重点措置が解除されて以降、ウイズコロナの下で個人消費や民間企業設備投資を始めとして多くの需要項目でコロナ禍前水準を回復しております。また、ロシアによるウクライナ侵略を契機として原材料等の需給が逼迫し、世界的に物価が上昇しやすい状況にあると考えられます。そのため、原材料コストを価格転嫁しやすい環境の確保が今後成長のために重要であり、国内の成長力強化につなげていくことで景気回復が予測されます。

このような状況のもと、当社におきましては、「シート加工会社 日本一」をスローガンに掲げ、「現場力」を高めて、「いいモノ創り」を行います。また、2023年5月より笠岡工場へ生産設備の順次移設を進め、2024年5月には移設完了とし、「新生 日本ファブウエルド株式会社」となります。そうした近い将来を見据え、56期より下記の事業変革を進めて参りました。(1) 競合、同業企業との直接加工契約の拡大、(2) 印刷加工事業の再展開、(3) メジロ (メッシュ、防災シート) 製品の加工増大、(4) 農業資材加工品の本格的取込み、(5) HII グループ (国内外) からの人財活用と融合。この様な新しい事業変革を行う中で「JFW 事業拡大 営業担当」を新設し、各取引先様や加工企業様らと今までとは異なる深いコミュニケーションを図って事業変革を進めました。他サイズシートとメッシュは、大幅に売上が減少しましたが、2K3K と防災関係は期首予算達成と牽引しました。直接加工販売では積極的な新規加工案件の取り込み行動で 33,386 千円/年 (前期比: 143.3%) 10,092 千円/年増収となりました。

その結果、当期の売上高は 396,936 千円 (前年同期比 104.2%)、営業利益は 20,172 千円 (同 132.6%)、経常利益は 20,384 千円 (同 97.5%) となり、当期純利益は 13,817 千円 (同 98.0% 減) となりました。

② 設備投資の状況

当期における設備投資は、機械装置の自動化、省人化を中心として、設備投資総額は、40,357 千円であります。

③ 資金調達の状況

当期中における必要資金は、本社借入金30百万円で充ちいたしました。

(2) 財産及び損益の状況

(単位：千円)

区 分 \ 期 別	第53期 (2020年3月期)	第54期 (2021年3月期)	第55期 (2022年3月期)	第56期 (2023年3月期)
売 上 高	432,902	364,294	380,751	396,936
経 常 利 益	50,056	28,147	20,889	20,384
当 期 純 利 益	33,709	19,033	14,086	13,817
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	374円54銭	221円47銭	156円52銭	153円53銭
総 資 産	337,966	334,531	332,816	339,670
純 資 産	211,800	221,833	231,420	240,738
1 株 当 たり 純 資 産	2,353円	2,464円	2,571円	2,674円

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数に基づき算出しております。
2. 1株当たり純資産は、期末発行済株式総数に基づき算出しております。

(3) 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

(4) 対処すべき課題

「シート加工会社 日本一」をスローガンに「現場力」を高めて、「いいモノ創り」を引き続き行ってまいります。

- ・縫製ラインの慢性的な人材不足。特に縫製作業者確保については本社と一緒に進めます。
- ・設備投資案件の計画的実行と笠岡工場に向けた設備移設計画を策定します。
- ・安全及び品質面では、当期間中の工場内にて労災ゼロを達成しました。引き続き安全対策後の安全診断を確実に実行し第56期もゼロ災に向けて、基本である5Sとともに改善活動を妥協なく継続していきます。
- ・県内外の他社加工ネットワークを更に強化していくとともに、新規加工先の取り込みに繋がる情報収集を行いながら新たな加工技術を磨き加工業のNEXTステージへ向かいます。
- ・社内で出来るコロナ感染対策を確実に実行して、絶対に感染させない取り組みを継続します。

「社員（家族）を守れ、会社を守れ」

以上、各課題の解決へ向け、全社一丸で積極的に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 主要な事業内容

- ・合繊クロスシート類の製造、加工

(6) 主要な営業所及び工場等

- ・本 社 岡山県笠岡市山口1428-1
- ・工 場 同 所

(7) 従業員の状況（2023年3月31日現在）

区 分	従 業 員 数	前期末比増減	平 均 年 齢	平均勤続年数
男 子	29名	—	42歳 3ヶ月	18年 1ヶ月
女 子	4名	2名増	44歳 8ヶ月	7年 9ヶ月
合計又は平均	33名	2名増	42歳 6ヶ月	16年10ヶ月

(注) 従業員数には臨時従業員15名（嘱託、パートタイマー）を含んでおりません。

(8) 主要な借入先

該当事項はありません。

2. 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 226,000株
- (2) 発行済株式の総数 90,000株
- (3) 株主数 1名
- (4) 株主の状況

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況		当社の大株主への出資状況	
	持 株 数	持 株 比 率	持 株 数	持 株 比 率
萩原工業株式会社	株 90,000	% 100.0	株 —	% —

(5) 自己株式の取得、処分等及び保有

該当事項はありません。

3. 会社役員の様況

取締役及び監査役の様況 (2023年3月31日現在)

地位	氏名	担当又は主な職業
代表取締役社長	藤田 学	萩原工業(株) 取締役執行役員 合成樹脂事業部門副部門長
取締役	岡田 清 広	管理部長
取締役	松浦 正 幸	萩原工業(株) 特命役員 合成樹脂事業部門子会社管掌
取締役	奥野 公 典	技術開発支援室長
監査役	金光 利 文	萩原工業(株) 常勤監査役

貸借対照表

日本ファブワールド(株)

2023年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流動資産】	【 110,875,366 】	【流動負債】	【 70,946,405 】
現金及び預金	46,160,990	買掛金	3,989,010
売掛金	43,559,362	1年内返済予定長期借入金	6,000,000
原材料	6,360,182	未払金	21,003,500
貯蔵品	5,005,437	未払費用	3,950,362
未収入金	26,508	預り金	2,367,122
繰延税金資産	10,077,887	未払消費税等	6,173,900
貸倒引当金	△ 315,000	未払法人税等	2,656,100
【固定資産】	【 228,795,582 】	賞与引当金	24,806,411
(有形固定資産)	(215,042,719)	【固定負債】	【 27,986,276 】
建物	23,201,061	長期借入金	24,000,000
建物附属設備	14,822,660	長期未払金	3,986,276
構築物	32,378	負債合計	98,932,681
機械装置	102,499,725		
車両・運搬具	2,209,382		
工具器具備品	266,054		
土地	11,746,949		
建設仮勘定	60,264,510		
(無形固定資産)	(288,684)		
電話加入権	288,684		
(投資その他の資産)	(13,464,179)		
出資金	536,200		
関係会社株式	9,701,397		
差入保証金	50,000		
前払年金費用	2,754,616		
繰延税金資産(固定)	421,966		
資産合計	339,670,948		
		純資産の部	
		【資本金】	【 90,000,000 】
		資本金	90,000,000
		【利益剰余金】	【 150,738,267 】
		利益準備金	22,500,000
		その他利益剰余金	
		繰越利益剰余金	128,238,267
		(うち当期純利益)	(13,817,983)
		純資産合計	240,738,267
		負債・純資産合計	339,670,948

損 益 計 算 書

日本ファブワールド(株)

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

科 目	金 額	
〔経常損益の部〕		円
(営業損益の部)		
【売上高】		
売上高	396,936,911	396,936,911
【売上原価】		
期首商品製品棚卸高	0	
商品仕入高	12,004,166	
当期製品製造原価	338,949,968	
合 計	350,954,134	
期末商品製品棚卸高	0	350,954,134
売上総利益		45,982,777
【販売費及び一般管理費】		25,810,762
営業利益		20,172,015
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受取配当金	42,504	
雑収入	336,854	379,358
【営業外費用】		
支払利息	155,944	
為替差損	480	
雑損失	10,300	166,724
経常利益		20,384,649
〔特別損益の部〕		
【特別利益】		
貸倒引当金戻入益	0	0
税引前当期純利益		20,384,649
法人税・住民税及び事業税		5,310,729
法人税等調整額		1,255,937
当期純利益		13,817,983

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

日本ファブワールド(株)

(単位：円)

	株 主 資 本			株 主 資 本 合 計	純 資 産 合 計
	資 本 金	利 益 剰 余 金			
		利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金		
2022年4月1日残高	90,000,000	22,500,000	118,920,284	231,420,284	231,420,284
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	△ 4,500,000	△ 4,500,000	△ 4,500,000
利益準備金の積立	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	13,817,983	13,817,983	13,817,983
当期変動額合計	-	-	9,317,983	9,317,983	9,317,983
2023年3月31日残高	90,000,000	22,500,000	128,238,267	240,738,267	240,738,267

注 記 事 項

1. 重要な会計方針

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

製 品	移動平均法による原価法
原 材 料	移動平均法による原価法
仕 掛 品	移動平均法による原価法
貯 蔵 品	最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定率法 ただし、法人税法の改正に伴い1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用している。
無形固定資産	定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金	債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法の規定による繰入限度相当額（法定繰入率）及び相手方の財政状態等を勘案して必要額を計上している。
賞与引当金	従業員の賞与の支給に充てるため、翌期支給見込額のうち当期負担額を計上している。

(4) リース取引の会計処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づく額を計上しております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により翌事業年度から費用処理しております。

(6) 消費税等の会計処理方法

税抜方法によっている。

2. 貸借対照表関係

(1) 支配株主に対する金銭債権・債務

短期金銭債権	35,874千円
短期金銭債務	10,002千円
長期金銭債務	24,000千円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額

841,964千円

(3) 貸借対照表に計上している固定資産のほか、シート加工設備及び事務用機器等の一部については、リース契約により使用している。

(4) 1株当たり当期純利益

153円53銭

3. 損益計算書関係

(1) 支配株主との取引高

売上高	356,714千円
仕入高	38,102千円

4. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。

監査報告書

私たち監査役は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第56期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしましたので、その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会に出席し、取締役等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計に関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書）について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年4月19日

日本ファブワールド株式会社

監査役

金 光 利 文 